



小清水町立小清水中学校

学校便り 臨時号

<学校教育目標>

・よく考え、意欲的に学ぶ生徒 ・明るく思いやりのある生徒

・たくましい身体をつくる生徒 ・粘り強くとりむ生徒

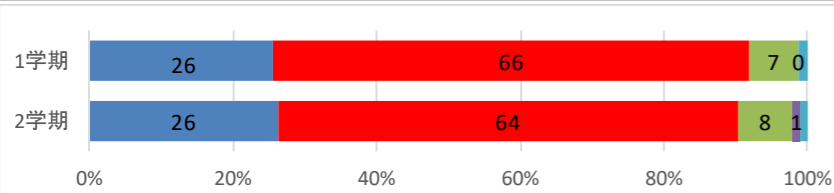
◇令和3年1月29日（金）発行

令和2年度 「小清水中学校の教育に関するアンケート」 評価結果 (全体の回収率99.0%)

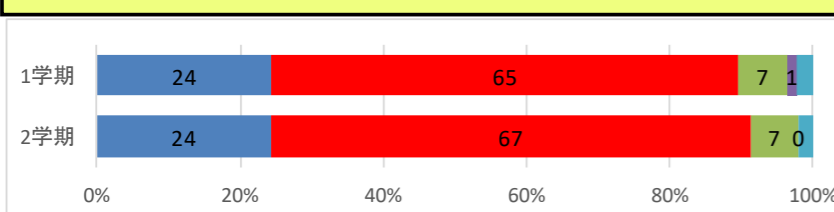
この度は保護者の皆様を対象に「小清水中学校の教育に関するアンケート」を実施させていただきました。お忙しい中お答えいただきましてありがとうございました。今年度の教育活動において、10項目について評価・ご意見をいただきました。集計結果は、1学期と2学期に分けてパーセントでグラフ表示しましたので比較してご覧ください。

■ 思う ■ どちらかといえば思う ■ どちらかといえばそう思わない ■ そう思わない ■ 無回答

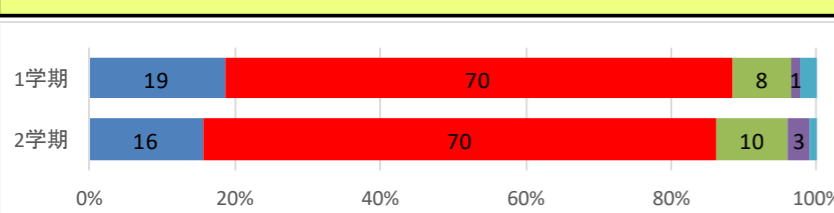
1. 学校は教育目標や教育方針をわかりやすく伝えている。



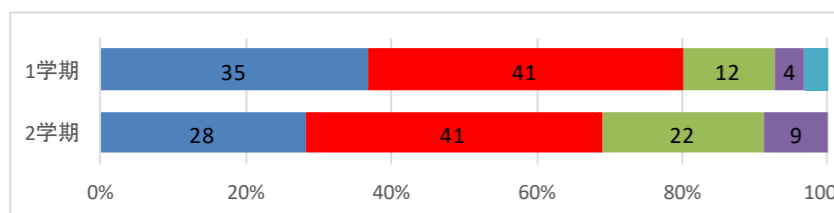
2. 学校は学習規律の指導をし、学習に集中できる環境を整えている。



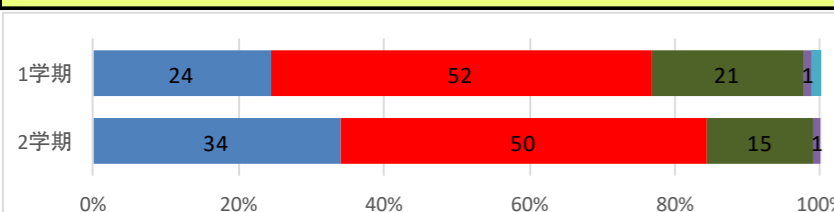
3. 子どもが基礎学力が身に付けられるよう、わかる授業がなされている。



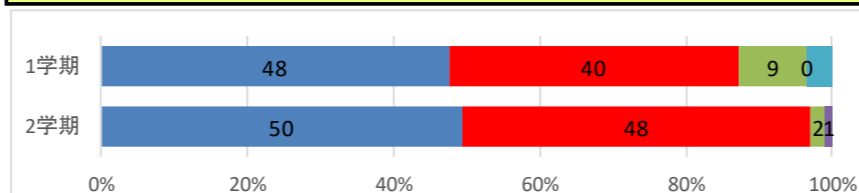
4. 子どもは家庭学習の習慣が身に付いている。



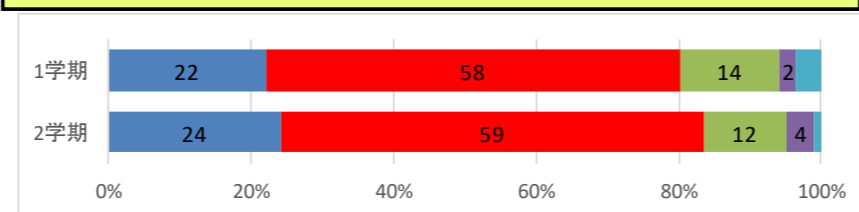
5. 子どもは学校・地域・家庭での元気なあいさつが身に付いている。



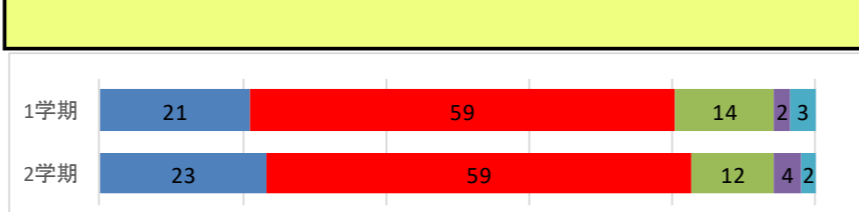
6. 学校職員は、自ら元気に明るくあいさつをしている。



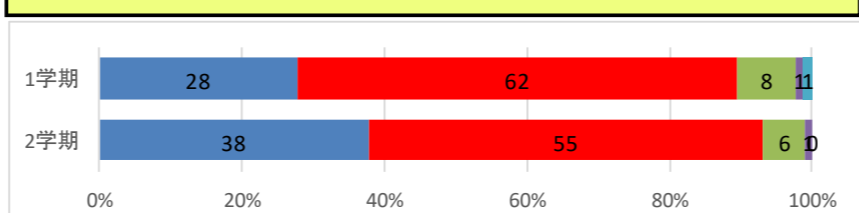
7. 学校は、子どもの悩み、トラブルを見逃さず相談や指導を適切に行っている。



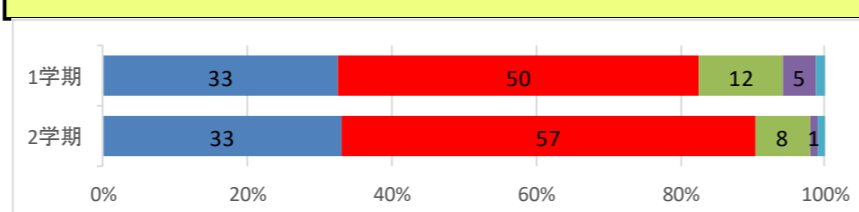
8. 学校は、子どもの気持ちに寄り添った相談や指導をしている。



9. 子どもは学校生活や行事、部活動などで、子どもどうし協力的で助け合う姿勢が見られる。



10. 学校は保護者にとって、連絡や相談がしやすくそれらに対応している。



2学期の教育活動振り返って、良かったと思う点があればお書きください。

- ・コロナの中、体育祭でできることをして下さり感謝しています。日々の感染予防をありがとうございます。
- ・コロナ禍で大変だと思います。これからも応援します。
- ・特別トラブルもなく、毎日穏やかに学校生活を送っていることに感謝いたします。学級通信が丁寧で、学級の様子がわかりやすく、いつもありがとうございます。
- ・コロナ禍の中、先生方も例年以上に大変だと思います。体育祭なども工夫して行って頂きありがとうございました。
- ・子どものペースに合った適切な対応をとっていただいております。感謝しています。忙しい中でも先生方の空いた時間で授業してくれており、個別の対応がとても丁寧で良かったと思います。私たちも不安だらけでしたが、校長や教頭、担任との面談で気持ちが楽になりました。
- ・体育祭開催できてよかったです。
- ・体育祭ができて良かったです。部活動も新人戦ができて良かったです。リモート授業など、こんな時だからこそできる授業を色々考えてくださっている先生方、協力企業の皆様に感謝します。
- ・コロナ禍の中文化祭は中止になってしまったが、体育祭を開催して下さり子ども達の行事を見る事が出来て良かったです。
- ・コロナ禍でいろいろな事に気を付けなければならない中、体育祭を開催して下さったことに感謝いたします。なんでも中止では、子ども達がかわいそうだなと思っていました。一生懸命な様子が見られて良かったです。
- ・職場体験や「大人セッション」が良かったです。
- ・毎日かかさず家庭学習をしています。なかなかテストの結果につながらなく、落ち込むこともありましたが、先生から家庭学習ノートにはげましの言葉や勉強のアドバイスが書いてり大変ありがたいです。
- ・参観日の時の事です。授業態度はとても良いと思いました。後、体育祭では、自分たちで進んで行動したり、応援など一生懸命声を出したり、何よりとても楽しんでいる様に見えました。こちらもイキイキしている姿を見て感動させていただきました。ありがとうございました。親としては修学旅行に連れて行って頂き本当にありがとうございました。
- ・一度でも三者面談を行っていただいたこと。
- ・子どもの得意を伸ばし、苦手を少しでも克服できるようにきめ細かなご指導をして下さっています。進学、またその先の社会生活を見すえて、とてもサポート下さっていると思います。
- ・修学旅行、体育祭など大変な中行う事ができ、ありがたく思っています。
- ・体育祭に参加できて良かったと思います。具体的に計画をたてていただいたことで、自ら学校へ行く姿勢が見られるようになりました。

2学期の教育活動を振り返って、今後改善すべき点があればお書きください。

- ・小中一貫が行事など（修学旅行の時期の相談など）連携がどんどん薄くなっているように感じます。コロナで大変ではありますが、それぞれではなくもう少しお互いを知って、理解が深められれば子供たちの為にますます良い環境になると思われました。
- ・アンケートの3, 6, 7, 8, は学校生活を見ていないのでよくわからないので、どちらかといえばそう思いたいと言うのが本音です。6の質問については、電話での対応はCに近いと思います。
- ・体育の授業中にマスクを外すよう言われたこと、コロナ禍でマスク着用が定着している中でマスクを外すように言われると、なぜなのかなぜなのか疑問だけが残ったようです。子供にはできるだけマスクを着用しているように指導しています。体育では、子供達の距離は保たれ、会話もしない中行っているでしょうか、先生は酸欠を気にされているかもしれませんが、なぜマスクを外す必要があるか子供達にわかるように説明し子供達に選択させてあげることが必要では。強要するだけは、避けて頂きたい。現在は改善されているようですが、子供の意見にも耳を傾けて頂きたいと思います。
- ・改善すべきというか、少しですがあいさつがもう少し出来てくれたら嬉しいです。はずかしい年頃なので仕方ないですが、その方が皆がもっと素敵に見えると思います。
- ・文化祭が無くなり、楽しみにしていた子ども達が少しかわいそうに感じました。保護者が見れなくても良いので、それに変わる何かがあったら良かったな〜と個人的に思いました。中学生最後の行事に向けてみんなで考え、協力して準備し、達成する楽しさを味わえると良かったな・・・と思いました。

・小中一貫教育につきましては、小中それぞれに「推進教師」を配置し連携を図っているところですが、義務教育学校とは違い、校舎が離れていることによる弊害も実際にはあります。今後も、連携を深めていきたいと思いますが、小学校と中学校の違い(中学校は卒業後に受験がある等)もあります。行事等、全ての活動を同じようにできないことも理解していただきたいと思えます。

・職員の電話対応については、今後も指導してまいりたいと思います。質問項目については、必要に応じて改善していきたいと思いますが、学校教育の様子を見る機会も少ない1年ではありましたが、授業参観や行事等にもぜひ参加していただき、様子を見て頂きたいと思えます。また、自分のお子様にも学校の様子を聞いてみて欲しいと思えます。

・コロナ禍にあり、授業を進める中で文科省より”授業の進め方”の指導もあり、それに従って授業を進めているところです。今後は生徒への理解を第一に考え、ご指摘の通り選択できるように進めてまいります。

・挨拶については、朝や帰り・始業終業時についても指導しているところです。生徒会でも「朝の挨拶運動」など全校的に取り組んでもいます。今後は校外での町民に対する挨拶を増やしていこうと呼びかけています。引き続き、ご指導をよろしくお願ひします。

・文化祭については、職員一同その意義についても議論し、文化祭の目的が達成されないのでは(合唱やその他の活動の制限)ということで今年度の中止を決めました。合唱については、感染が落ち着いた段階で”発表会”のようなことを考えていましたが、現在の感染状況の中で非常に厳しい状況です。

・教え方が問題点なのかな？生徒から匿名でアンケートをとるべきだと思います。問題点が見えてくると思えます。

・テストの結果について、母数が少ないのはわかりますが、順位が各教科及び5・9教科の得点分布を出してほしいです。子どものモチベーションアップにもつながります。平均点だけだと平均点を見て安心してしまふので。

・スキー授業の回数を増やしてみてもは？

・基礎学力が定着しておらず授業が分からないと言ってます。具体的にどのあたりが？と聞いても「ん〜わからない」とのこと。学力には差があるので補習か個別か何か良い案ないですか？中学校の基礎が身につけば高校進学しても応用きくかなと思うのですが。

・教科によっては、「先生の説明がわかりづらい」と子供が言っている時があります。自分より成績が良い友達でも「わかりづらい」と言っているそうなので、子供にとっては理解しようと必死のようです。（先生の説明より友達の説明の方がわかりやすいそうです）黒板の使い方（字の大きさやチョークの色など）も見やすく工夫して欲しい時もあります。「生徒が受験に失敗しようが先生には関係ない」その通りだと思います。でも、わかりづらい授業を受けるしかない子供たちはかわいそうかと思えます。わからないと勉強楽しくないです。期待しています。（ワガママ言ってますみません）

・部活動について現在は、運動部は女子はバレー部しかなく、男子は野球・サッカー・バスケットと3つもあるのは不公平だと思います。（野球・サッカーは女子も入れるそうですが、少年団に入っていない子達にはその選択はないので女子の為の部活とはいえない）

・部活動については、1学期の評価アンケートにも回答しましたが、全校生徒数や教師の数に対する部活動の数が適正とは言えません。現状は女子の選択肢が少ないですが、今後部活動が増えることは考えづらいと思いません。今後2年間で、現在ある部活動についても存続を考えていかなくてはなりません。今年に入り、「学校の働き方改革を踏まえた部活動改革について」というスポーツ庁と文科省・文化庁の連名による「学校と地域が協働・融合」という文書が発出されました。

・教師の指導力に関しては、日々改善しなければならないのが我々の仕事です。ご指摘の通り、指導力の向上に努めて参ります。また授業アンケートについては匿名ではありませんが、学期毎に実施しております。生徒が本音を書きやすい環境作りも進めていきたいと思えます。

・順位については、安心してしまうことが心配されるため掲載しないことにしました。大切なことは、そのテスト範囲内でどれくらい理解されているかが重要です。60点なら60%が理解されていて、できなかった40%をテスト終了後に解き直して理解する。「何点だった」よりは「できなかった(理解できていないこと)ことが把握できた」という視点でテストに取り組んで欲しいと思えます。

・スキー授業については、他の種目との兼ね合いもあります。すぐに増やすことはできないのが現状です。

・「基礎学力の定着」は我々教師の永遠の課題でもあります。まずは本人がどこからわからなくなっているか？を知ることが重要です。教科担任の先生はもちろん、担任の先生や部活動の顧問の先生も相談にのってくれるはずですが、ぜひ相談してみてください。必要であれば、放課後等の時間を有効に使えます。

・「受験に失敗しようが・・・」という発言に関しては、教師として不適切であり学校としてどういう意図で言ったのか調べて指導します。授業での指導方法については、改善に向けて努力したいと思います。